

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者住宅改造助成事業		事業期間	平成 28年度～平成 30年度

【事業全体概要】

事業の概要	日常生活で介助を要する寝たきりなど的高齢者が、自宅において暮らしやすい生活ができるように住宅の改造をする場合、対象工事費の一部を助成することにより、当該高齢者の在宅生活を支援するとともに、介助する者の負担の軽減を図る。		
2年度概要	類似したサービスとの関係を見極め、事業の必要性について検討した結果、令和2年度から事業を廃止することとなった。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	介助を必要とする寝たきりなど的高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	介助を必要とする高齢者の在宅生活を支援するとともに、これらの者を介助する者の負担の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
高齢者住宅改造助成件数	件	23	11	11		31

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
高齢者住宅改造助成を行なった高齢者率	%	目標値	0.17	0.2	0.07		0.2
		実績値	0.09	0.06	0.06		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 高齢者数は増加しているが、一般住宅等においてバリアフリー化が進んでいることや、平成30年度からの対象要件の変更があったため、助成件数は減少しており、目標を達成できなかった。	(目標達成度)						(達成度) 85.7%
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	11,884	8,997	9,654	0
(事業費)	[円]	6,573	3,704	4,342	
(職員人件費)	[円]	5,311	5,293	5,312	0

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	廃止
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
平成30年度より対象要件を同居する家族全員が市民税非課税としたため、申請数は減り、想定する申請数には至らなかった。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
類似したサービスとの関係を見極め、事業の必要性について検討した結果、令和2年度から事業を廃止することとなった。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者住宅等安心確保事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携および各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。また、毎年1回、高齢者住宅等安心確保連絡協議会を開催し、生活援助員の質の向上に努めている。		
2年度の概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	シルバーハウジングの入居者
意図（どのような状態にしたいか）	シルバーハウジングの入居者が、自立して安全かつ快適な生活を営むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
生活援助員勤務日数	日	972	976	960	976	972

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	生活援助員への相談件数	件	目標値	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
			実績値	5,661	5,219	4,799		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 生活援助員による入居者への生活相談等を実施することにより、入居高齢者の安心を確保することができたことなどから、目標を概ね達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 73.8% 25点
	成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	21,031	20,246	20,405	20,536
（事業費）	[千円]	8,892	8,147	8,264	8,395
（職員人件費）	[千円]	12,139	12,099	12,141	12,141

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
事業開始当初に比べ入居者の高齢化が進み、支援の必要な人が増加している。生活援助員だけでなく、医療、介護、福祉等の関係機関との連携を含めた地域全体での一体的な取り組みが必要となってきている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
平成30年度に社会福祉法人への委託方法の見直しを行ったが、地域包括ケアの観点から、高齢者の住宅を確保し、生活を支援する必要があるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	軽費老人ホーム事務費補助事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費とし、社会福祉法人にその一部を補助する。				
2年度概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費とし、社会福祉法人にその一部を補助する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	軽費老人ホームの入所者及び入所希望者
意図（どのような状態にしたいか）	自立した日常生活を営むことについて不安を抱える高齢者が、収入に応じた低額な料金で、施設を利用できるようにすること。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金を交付した施設数	施設	13	13	13	12	13

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	入所者実数	人	目標値	556	556	556	536	556
			実績値	548	556	538		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 軽費老人ホームを運営している全施設に対して補助金を交付することにより、入所者が収入に応じた低額な料金で施設を利用できたことなどから、目標を概ね達成できた。 							(達成度) 96.8% 33点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	216,222	223,672	215,622	223,692
（事業費）	[円]	204,083	211,573	203,481	211,551
（職員人件費）	[円]	12,139	12,099	12,141	12,141

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
自立した日常生活を送ることについて、不安を抱える高齢者が、収入に応じた低額な料金で、施設を利用できている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
令和2年度から民間施設給与等改善費（加算措置）を再開することとした。今後とも、運営補助については、他自治体の動向等を勘案しながら適切な水準を維持し、効果的な事業の実施に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	住まいの整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	老人福祉施設整備支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	(1) 社会福祉法人が、老人福祉施設整備のため独立行政法人福祉医療機構から借入した償還に伴う利子に対し、高松市社会福祉法人助成条例に基づいた利率にて算出された額を同法人へ補助する。 (2) 老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。				
	2年度概要	(1) 社会福祉法人が、老人福祉施設整備のため独立行政法人福祉医療機構から借入した償還に伴う利子に対し、高松市社会福祉法人助成条例に基づいた利率にて算出された額を同法人へ補助する。 (2) 老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備		

【事業の目的】

対象(何を)	老人福祉施設を設置する社会福祉法人
意図(どのような状態にしたいか)	老人福祉施設の整備を促進し、入所者の生活環境の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金を交付した社会福祉法人数	法人	16	17	15	15	16

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		補助金を交付した老人福祉施設数	施設	目標値	20	20	20	18
			実績値	20	23	18		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 90.0%
	対象とする社会福祉法人からの申請を受け、適切に事務処理を行い、補助金を交付したことから、目標を概ね達成できた。	(目標達成度)	31点					
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	58,901	122,667	94,766	329,324
(事業費)	[千円]	45,244	109,055	81,108	315,666
(職員人件費)	[千円]	13,657	13,612	13,658	13,658

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高齢者保健福祉計画における必要見込み量を満たす施設整備が行われており、施設の安定的な経営や入所者の生活環境向上が図られている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

- (1) 平成15年4月1日に社会福祉法人助成条例施行規則を改正し、新規事業分については廃止しており、償還が終了する予定の令和6年度に、本事業のうち利子に対する補助は廃止となる見込みである。
- (2) 高齢者保健福祉計画に沿った施設整備を進めるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。